

平成30年度平塚市民・大学交流事業

「考古学の世界」

事業実施報告書



倉木崎海底遺跡調査風景(木村淳氏提供)



沖縄本島底川集落「トーラ(炊事場)」と
「フル(豚便所)」(石井龍太氏提供)

平塚市民・大学交流委員会
文化・生涯学習推進部会

2018

内 容 遺跡から出土した遺物の観察をとおして、どのような歴史が読み取れるかを考察する講座の8年目。生涯学習として、市民が歴史に親しむ場を提供することを目的に、今回は東海大学清水キャンパスの海洋学部の協力のもと、「海」と「島」をテーマに日本とアジアの中世から近代の考古学を、専門の先生に解説いただきました。

1日目 平成30年10月13日(土) 13:00から15:00

『島のシマ - 「多重境界性」からみた近世琉球集落遺跡 - 』

講師 石井龍太先生(東海大学文学部歴史学科講師・

城西大学経営学部准教授)

[講座内容](講義案内より)

「シマ」には二つの意味があります。海に浮かぶ陸地と、人々が生活する集落空間です。琉球諸島に関心を寄せ、考古学的な検証を続けてきた石井先生。近年は「民衆史の近世考古学」を志向し、集落遺跡を調査しています。

副題の「多重境界性」とは、琉球集落遺跡が帯びる様々な境界性を指します。東アジアと東南アジア、日本と中国、琉球王国と日本国沖縄県など、様々な境界性を内包しつつ民衆生活は展開しました。今回はこうした観点から、集落遺跡の調査成果をお話しいたします。

2日目 平成30年10月14日(日) 13:00から15:00

『沈没船遺跡の考古学:海のシルクルートとアジア海上商業の時代』

講師 木村淳先生(東海大学海洋学部海洋文明学科講師)

[講座内容](講義案内より)

沈没船遺跡研究・水中考古学調査は海洋考古学の一分野です。近年、東南アジアで、千年以上前の海のシルクルート交易に従事したペルシャ・アラブ系沈没船も発見されてきました。中国沿岸では12 - 13世紀に商船建造が盛んとなり、関連した沈没船遺跡や交易船の積み荷も発見されています。沈没船は考古遺跡であり、当時の航海民や海商がどのような船を使って海上交易に携わってきたかを現代の我々に教えてくれる。講演では、東南アジア・東アジア海域の交易史に関わる沈没船遺跡についてお話しいただきます。

会 場 平塚市中央公民館 3階 大会議室

対 象 市内在住、在勤、在学の方(中学生以上)

参 加 者 1日目 32名(申込み 33名) 前年 25名(申込み 33名)

2日目 31名(申込み 40名) 前年 28名(申込み 38名)

(総申し込み52名:前年42名、2回連続受講者 18名)



10/13 講座の様子(1)



10/13 講座の様子(2)



10/14 講座の様子(1)



10/14 講座の様子(2)



10/13 講座のプレゼンテーション資料



10/14 講座のプレゼンテーション資料

平成30年度 平塚市民・大学交流事業

平成30年10月13日(土)

島のシマ

「多重境界性」からみた
近世琉球集落遺跡

石井 龍太 先生 (東海大学文学部)
(城西大学経営学部)



高古島 野嶺遺跡(土壁)跡

『考古学の世界』

島・海域

平成30年10月14日(日)

沈没船遺跡の考古学

海のシルクルートと
アジア海上商業の時代

木村 淳 先生 (東海大学海洋学部)



西条島 船山集落

会場: 平塚市中央公民館 3階 大会議室 (平塚市追分1-20)
時間: 午後1:00~ 3:00 (受付は午後0:30~)

<申し込み・問い合わせ先>

平塚市教育委員会 社会教育課『考古学の世界』担当
住所: 〒254-8686 平塚市浅間町9-1 平塚市役所 本館7階
アクセス: 0463(34)5522 電話: 0463(35)8124
メール: k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp
対象: 市内在住、在勤、在学の方(中学生以上)
定員: 各講座 40名(定員を超えた場合は抽選となります)
応募締切: 平成30年9月26日(水) 必着
応募方法: はがき、FAX、メールのいずれかで「住所、氏名(ふりがな)、年齢、学生の方は学校名と学年、電話番号、一日のみ参加希望の場合はその日にち」を記入の上、お申し込みください。

参加費無料
要申し込み



主催: 平塚市民・大学交流委員会

※ポスターデザイン: 東海大学 東海大学海洋学部 平塚市立大学 平塚市立大学

ポスター

平成30年度 平塚市民・大学交流事業

『考古学の世界』

平成30年10月13日(土)13時から

島のシマ

「多重境界性」からみた
近世琉球集落遺跡

石井 龍太 先生 (東海大学文学部)
(城西大学経営学部)



高古島 野嶺遺跡
「シマ」跡
西条島 船山集落
「シマ」跡
西条島 船山集落
「シマ」跡

「シマ」には二つの意味があります。田舎から町まで、人々の生活する農漁空間です。遺跡発掘に際しては、高古島や西条島に存在する「シマ」を、近世の「考古学の世界」を追求し、歴史を探究しています。遺跡の「多重境界性」とは、琉球集落遺跡が抱える様々な境界性を指します。東アジアと東洋アジア、日本と中国、琉球半島と日本国外離島など、様々な境界性を内包しつつ歴史生活は展開しました。今回このように数点から、集落遺跡の調査成果をお話ししていきます。

平塚市中央公民館 3階 大会議室 (平塚市追分1-20)

対象: 市内在住、在勤、在学の方(中学生以上)
定員: 40名(定員を超えた場合は抽選となります)
応募締切: 平成30年9月26日(水) 必着

応募方法: 是日申し込み 要申し込み
申し込み・問い合わせ先:
平塚市教育委員会 社会教育課 文化財保護担当
住所: 〒254-8686 平塚市浅間町9-1
電話: 0463(34)5522 FAX: 0463(35)8124
メール: k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp

※ポスターデザイン: 東海大学 東海大学海洋学部 平塚市立大学 平塚市立大学

10/13講座のチラシ

平成30年度 平塚市民・大学交流事業

『考古学の世界』

平成30年10月14日(日)13時から

沈没船遺跡の考古学

海のシルクルートと
アジア海上商業の時代

木村 淳 先生 (東海大学海洋学部)



インドネシアの北パプア島、アップ島での発見

沈没船遺跡研究 - 水中考査で調査は海洋考古学の一分野です。東南アジアで、千年以上前の海のシルクルート交易に使ったペルシア・アラブ系交易船が発見されました。中国沿岸では12-13世紀に高船構造が常となり、交易船とその積み荷も発見されています。沈没船は考古学資料であり、当時の航海状況や船中品などの歴史を伝えます。海上交易に関わってきた船隻の発見は、東洋の歴史、東洋アジア・東アジア海域の交易史に関わる沈没船遺跡についてお話ししていきます。

平塚市中央公民館 3階 大会議室 (平塚市追分1-20)

対象: 市内在住、在勤、在学の方(中学生以上)
定員: 40名(定員を超えた場合は抽選となります)
応募締切: 平成30年9月26日(水) 必着

応募方法: 参加費無料 要申し込み
申し込み・問い合わせ先:
平塚市教育委員会 社会教育課 文化財保護担当
住所: 〒254-8686 平塚市浅間町9-1
電話: 0463(34)5522 FAX: 0463(35)8124
メール: k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp

※ポスターデザイン: 東海大学 東海大学海洋学部 平塚市立大学 平塚市立大学

10/14講座のチラシ

アンケートについて

回答数 30(1日目)、31(2日目)

アンケート内容	項目	数	%	備考
性別	男性	46	73.0	
	女性	17	27.0	
申込み情報から	知人	8	12.5	
	市広報	32	45.0	
	チラシ等	8	12.5	
	ポスター	9	14.1	掲示場所(東海大、市役所、公民館、駅前地下道、平塚駅など)
	ほっとメール	1	1.6	
	その他	6	9.4	インターネット検索、大学授業
講義の内容(1日目)	よかった	25	80.6	
	よくなかった	1	3.2	
	どちらとも	1	3.2	
	その他	0	0.0	「わかりやすくおもしろい」、「やや専門的」、「身近になった」
	無回答	4	12.9	
講義の内容(2日目)	よかった	27	87.1	
	よくなかった	0	0.0	
	どちらとも	3	9.7	
	その他	0	0.0	「わかりやすい」
	無回答	1	3.2	
これまでの参加	はじめて	42	69.4	
	2回目	13	20.4	
	3回以上	6	6.1	

申し込み時の情報等から

内容	項目	数	%	備考
年齢(n = 52)	20歳未満	2	3.8	1
	20代	10	19.2	4
	30代	1	1.9	1
	40代	2	3.8	3
	50代	2	3.8	5
	60代	13	25.0	10
	70歳以上	20	38.5	13
	年齢不詳	2	3.8	5

参加者の感想

【1日目の意見・感想等】(抜粋・原文一部修正)

- ・ すごく一つ一つ解説してくださったので理解しやすかった。
- ・ 異なる考えを教えてもらえてよかった。見方が広がりました。
- ・ 他の公民館でも開催してほしい。シリーズ化してもらいたい。修了証を発行してほしい。
- ・ 沖縄の中近代史を学べてよかったです。
- ・ わくわくしながら大変面白く拝聴しました。調査研究の現場の大変さ御苦労を思う、お陰で私たちは知ることができるのですから、先生「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。痕跡の小さなことも見落とすことなく、手掛かりにして考察してゆく過程は探偵と似ていて、刑事コロンボ好きの私としては満足度100%でした。
- ・ 高い視点を学ばせてもらいました。
- ・ 行ったことのないところだったので興味深い。
- ・ これからも実施願います。
- ・ 私個人は倭国の古代史について調べているのですが、石井先生のお話は分かりやすく参考になりました。多重境界性とは複数の地域の境界にみられる複合的な文化の状態だと理解しました。今回この場に来られてよかったです。明日の発表も楽しみにしています。
- ・ 考古学が昭和時代の私にとってだいぶ新しい考え方になり時代の流れを知った。
- ・ 人間はいろいろの場所で生活を営み続けその後途絶え思いもしないときにその跡を見い出され・・・大変面白い話を聞かせて頂き感動しました。いま日本は人口減少に伴い廃村が進んでいます。又いつの日か今日のようにその生きざまが明らかにされることがあるのでしょうか・・・ヒンブンに代表されるような今はわかるがその意味することも忘れられることもある。文献として残しておく重要性を強く感じます。

【2日目の意見・感想等】(抜粋・原文一部修正)

- ・ アジア全体を関連付けて説明してもらったのでわかりやすかったです。
- ・ 歴史好きにはとても楽しかったです。
- ・ 海のシルクロード 海(船)で運搬するものは重量物が主であると思う。大きな石柱はバラスト用の物では?陶器を運んだ帰りに積載したのでは?
いろいろと面白い想像ができ楽しい講演でした!日本丸の上甲板の木材の間にヤシの繊維を打ち込んでいるという話を思い出しました。
- ・ 郷土関係以外の今回のような広い地域のテーマの講座をやってほしい。
- ・ 30 数年前の市民大学講座「海の文化史」で茂在寅男先生の水中考古学のお話が興味深いものだったので、今回も期待をしてみました。今回も面白かったです。ありがとうございました。
- ・ 大変興味深く聴講できました。これからも続けてください。市の広報で伝えて下さい。
- ・ 海のシルクルートの話は初めてでした。面白かったです。いまの複雑な世界を考えるにあたって本講座の後の侵略の時代の勉強もできたらうれしいです。
- ・ 本日参加して話を聞いて今後の自分の卒業研究のためになった。また大学講義とは一味違う感じがして新鮮であった。
- ・ 実物を見る機会があればと思いました。
- ・ 普段は他大学で海のことを勉強しています。しかし内容は生物などで、視点を変えるとまた別の見方ができて楽しかったです。

- ・ 今回の講演は海のシルクロード沈没船の考古学というテーマでとても興味深いものだった。陸上のシルクロードは有名だが古代の長距離移動手段として利用されていた船もその交易に大きな影響を与えていると考察できる。その点を考えると陸上以上に海上ルートの方が栄えていたとしても不思議ではないと感じた。又沈没船から出土した積み荷などはインド洋や中国などから運ばれたものが多く、それぞれの文化やそのころの物の価格を知るための資料となっている点は面白いと思った。さらには模倣品がつくられるなどして文化や伝統工芸が広まっているというのはすごいことである。海洋考古学の中で船というキーワードは必ず関係してくるため船を調べることで人間と海との関係や当時の海洋の利用や生活を解き明かすことができる。そのため水中考古学・海洋考古学はさらなる歴史の解明を担う大変な学問であると感じた。
- ・ スライドが見つらなかったのも、手元のプリントに地図があればよりわかりやすかったように思います。それだけが残念に思いました。
- ・ もう少し話を整理してまとめて話してほしい。もう少し東アジアの交通を話してほしい。
- ・ 久しぶりの学校の講義を聞いたような気がする。自信を持った自説の発表、良。総合大学として東海大学の幅が広いこと確認した。
- ・ 網野善彦氏の海上交通に対する再評価に触れた依頼、海上路に興味を持っていたため、この度のお話は非常に楽しく聞かせてもらいました。昨日の石井先生、今回の木村先生の発表はどちらも面白かったです。来年の『考古学の世界』も期待しています。

以上

資料

『島のシマ - 「多重境界性」からみた近世琉球集落遺跡 - 』講義資料

『沈没船遺跡の考古学：海のシルクロードとアジア海上商業の時代』講義資料